

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	三重県鈴鹿市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	鈴鹿市文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
第2次鈴鹿市文化振興ビジョン（平成25年3月策定～平成34年）を踏まえ、市内に残る貴重な文化遺産の発掘・調査を進め、次世代に向けて文化遺産を適切に保存する。また、地域資源の文化遺産を活用し、文化遺産に親しむ機会を提供するとともに、文化遺産を活かした世代間の交流が行われる魅力ある地域づくりを展開する。 下記の取組を通じて、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。 1. 地域の文化遺産継承事業 地域の文化遺産継承事業については、本市の伝統工芸である伊勢型紙や、地域で守り継がれている祭りなどの伝統芸能の保存や伝承及び人材育成に関する事業を実施する。用具の修復については、必要に応じて計画を修正し対応する。また、伝統文化を市民が体験できる事業を実施する。 2. 地域文化資源活用事業 本市の文化遺産や郷土の偉人である大黒屋光太夫や佐佐木信綱等を活用した展示を開催する。 3. 指定文化財の保存及び管理等 本市指定の有形・無形指定文化財の保存及び管理等を行う。			
6 実施体制			
本事業については、鈴鹿市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 担当課、役割 文化財課：地域伝統工芸、伝統芸能、文化財の取扱等に関する指導等 また、事業の実施については、次の団体が実施。 ・牧田地区地域づくり協議会 ・伊勢型紙技術保存会 ・鈴鹿市 ・市指定文化財管理者（団体） （「⑤計画の概要」における2の事業を実施） （「⑤計画の概要」における1の事業を実施） （「⑤計画の概要」における2. 3の事業を実施） （「⑤計画の概要」における3の事業を実施）			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 28,988 千円	平成30年度申請額： 10,584 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
(1)地域の文化遺産の継承及び後継者育成 (2)地域の文化資源の活用による市内外からの観光客の増加 (3)伝統的な文化遺産の体験事業によるすそ野の拡大 市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後市民の文化遺産の保護・活用事業への参加が見込まれる。資料館等への来館者の増加により、市内外への文化遺産の認知度の促進も期待される。 また、確実に文化遺産を継承していくとともに、行政と市民の協働のもと、文化遺産を活用し、地域文化を活性化していく体制が構築される。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	1. 地域の文化遺産継承事業（文化庁・県市補助事業） 伊勢型紙技術の保存・伝承及び人材育成を目的とした伝承者・研修者の受け入れによる技術習得指導及び企画展等の開催 ・技術習得指導 期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 開催場所：伊勢型紙資料館 ・企画展 期 間：平成30年8月下旬 開催場所：伊勢型紙資料館		

事業概要：	2. 地域文化資源活用事業 (1)本市の文化遺産や郷土の偉人（大黒屋光太夫及び佐佐木信綱）を活用した展示の開催 ・常設展示 期 間：通年 開催場所：大黒屋光太夫記念館，佐佐木信綱記念館，伊勢型紙資料館， 稲生民俗資料館，庄野宿資料館，前川定五郎資料室 ・特別展示 大黒屋光太夫記念館 期 間：平成30年10月中旬～11月下旬 開催場所：大黒屋光太夫記念館 佐佐木信綱記念館 期 間：平成30年11月上旬～12月下旬 開催場所：佐佐木信綱記念館 (2)国指定天然記念物金生水沼沢植物群落の動植物調査及び観察会の開催 ・調査及び保護増殖作業 期 間：通年 開催場所：金生水沼沢植物群落内 ・観察会 期 間：平成30年 5 月頃から10月頃 開催場所：金生水沼沢植物群落内 対 象：市民等 ※その他，学校等からの要請に応じて対応
事業概要：	3. 鈴鹿市指定文化財の保存及び管理等（自主財源，市補助事業） 自主財源及び市補助金を活用しながら市指定文化財の保存及び活用等を行う。 無形民俗(県) 3 件(市) 5 件，有形民俗(市) 1 件，天然記念物(国) 1 件(県) 9 件(市) 2 件， 史跡(県) 2 件(市) 3 件，名勝(県) 2 件 計28件 期 間：通年 開催場所：市内各指定文化財管理地
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
なし	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	鈴鹿市文化スポーツ部文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1 :	市内の各資料館への来館者数	関連事業:		①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 19,515 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 21,000 人				
設定根拠 1 :	資料館等への来館者数を計ることで、市内外の人々の、地域の文化遺産への関心度を測る				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：		牧田文化遺産活用活性化事業		実施団体：		牧田地区地域づくり協議会	
事業区分：		情報発信		事業期間：		平成 30 年度 ～ 平成 34 年度	
事業概要：		当地区は、鈴鹿川沿いに広がる平たんな土地柄で古来より水害に悩まされ、また江戸時代は東海道が通り、鈴鹿川を渡り多くの人たちが往来した。自然の恵みに感謝した祭礼が地区の人たちによって守り続けられているが、若者が少なくなり、やめてしまった風習もある。地域に貢献した偉人の功績を発信するとともに地域住民が続けてきたことを改めて記録発信し、活性化につなげることを目的とする。					
評価指標区分：		・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：		youtubeでの再生回数					
目標値：		【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 5,000 回					
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度		
回	回	回	回	回	回		